

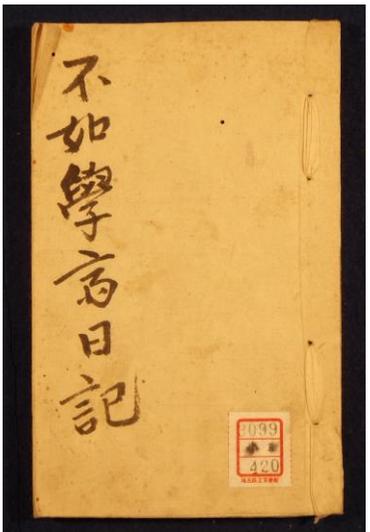
幕末と明治初年の日記を読む

史料1 文久二年(一八六二)八月

「不如学齋日記」

三

〔小室家文書四二〇〕



○言ふにわが山手は昔より此の如く
柳木好知より此の如くを記す
此の如くより此の如くを記す
○言ふに吾所が古好知より此の如く
昔年不運あり
○此の如く記すは人候分今迄記す

と書けり似奉り候也

○音

○言ふに本十中四花中一節口は花柳
花名を分る事好知先古地力分要環
伊勢松尾系新分記記京長分市分
此の如く記すは人候分今迄記す
○言ふに本十中四花中一節口は花柳

